

自動運転の国際的なルール作りについての シンポジウム

2020年12月4日

自動運転基準化研究所

Institute for
ACV Standardization

自動運転の国際的なルール作りについての シンポジウム

日時：2020年12月4日（金）14：00～18：00

場所：日比谷国際ビル コンファレンススクエア

開催方式：オンライン及び会場

14:00～14:05 開会挨拶
国土交通省自動車局次長 江坂 行弘

14:05～14:15 自動運転基準化研究所における最近の取組について
自動運転基準化研究所
所長 河合 英直

講演概要

2016年に自動走行ビジネス検討会のアウトプットの一つとして設立された自動運転基準化研究所では、国際的なルール作りである基準と標準とをつなぎ、自動運転に関する国際標準に対して戦略的に取り組むための検討を行う場として活動を行ってきた。本講演では、これまでの活動概要と今後の取り組みについて、その概要を述べる。

14:15～14:40 日本における自動運転に関する取組について
国土交通省自動車局
安全・環境基準課安全基準室長 猶野 喬

講演概要

交通事故の削減をはじめ様々なメリットが期待される自動運転を実現させるため、政府として2020年での高速道路でのレベル3の実現等を目標に掲げ取り組みを加速させている。その一環として、国土交通省では、自動運転車の安全性能やその作動状態の記録項目等を定めた安全基準を2020年3月に策定した。本講演ではその概要と、国連自動車基準調和世界フォーラム（WP29）における国際的な自動運転車の基準の議論の動向等を紹介する。

14:40～15:05 標準化をめぐる最近の動向と自動運転に関する標準化の取組
経済産業省産業技術環境局
国際標準課課長 黒田 浩司

講演概要

標準化をとりまく環境変化・最近の動向を踏まえ、弊省の標準化に関する取組について自動車分野以外も含む全般の話から自動運転に関する取組みまで、事例を交えながら解説する。

15:05～15:15

休憩

15:15～15:40 国連における自動運転に関する基準の動向について
国連欧州経済委員会自動車基準調和世界フォーラム
自動運転専門分科会 副議長 斧田 孝夫

講演概要

「自動運転」という言葉がかまびすしく喧伝されるようになって久しい。しかしながら自動運転の市場導入は、現時点において残念ながらまだ実現していない。このような中、本年6月24日、自動運転技術に係る初めての国際基準が国連自動車基準調和世界フォーラム（WP.29）において成立した。本講演では、自動運転技術の実現するための環境の整備を進めるうえで不可欠な国際基準調和の重要性について述べたうえで、関連する国際基準策定のための活動を概観する。

15:40～16:05 自動運転の国際基準化及び標準化への自動車業界の活動
一般社団法人日本自動車工業会
自動運転部会部会長 横山 利夫

講演概要

日本自動車工業会は、2030年Vision実現に向けて2020年10月から新たな体制で活動を開始しており、次世代モビリティ領域を担当する新たな委員会も含め5委員会に変革したところである。安全技術・政策委員会傘下の自動運転部会では、2030年Vision実現のKeyとなる自動運転技術の実用化に向けて、国際基準調和や国際標準化活動等の様々な協調領域の活動を6分科会で実施している。本講演では、実現に向けた課題認識と各分科会における活動内容を紹介する。

16:05～16:15

休憩

- 16:15～16:35 米国における自動運転に関する取り組みについて（ビデオ）
国運輸省道路交通安全局（NHTSA）
Chief Counsel Jonathan C. MORRISON
- 16:35～16:55 中国における自動運転に関する取り組みについて（ビデオ）
中国自動車技術研究センター（CATARC）
Deputy Director of Automotive Standardization
Research Institute(ASRI) WANG Zhao
- 16:55～17:15 EUにおける自動運転に関する取り組みについて（ビデオ）
欧州委員会域内市場・産業・起業・中小企業総局
（DG GROW EC）
Team Leader Automated/Connected vehicles and Safety
Antony LAGRANGE

17:15～17:20

休憩

17:20～17:50 日本からの参加者に向けた全体の質疑応答

17:50～18:00 閉会挨拶
自動運転基準化研究所 所長 河合 英直

事務局：公益財団法人日本輸送技術協会
自動車基準認証国際化研究センター

東京都新宿区四谷三丁目2-5
全日本トラック総合会館7F
Tel:03-5362-7751
E-mail :acvs@jasic.org

講演者ご紹介

	<p>氏名 河合 英直(かわい てるなお) 所属・役職 (独)自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車安全研究部長 自動運転基準化研究所 所長</p> <p><略歴> 平成24年4月交通安全環境研究所 自動車安全研究領域 副研究領域長, 領域長, 国際調和推進部長、自動車研究部長を経て、平成30年4月自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車安全研究部長。 平成28年より自動運転基準化研究所所長。 国土交通省 交通政策審議会臨時委員, 車両安全対策検討会委員, 第6期ASV推進検討会委員 経済産業省 総合資源エネルギー調査会臨時委員 内閣府 SIP「自動走行システム」推進委員会構成員, 自動走行ビジネス検討会委員 他</p>
	<p>氏名 猶野 喬(なおの たかし) 役職 国土交通省自動車局安全・環境基準課安全基準室長</p> <p><略歴> 平成12年4月 運輸省入省 平成19年7月 独立行政法人交通安全環境研究所自動車審査部 前任自動車審査官 平成24年8月 国土交通省自動車局技術政策課 車両安全対策調整官 平成26年7月 自動車基準認証国際研究センター ジュネーブ事務所長 平成30年7月 国土交通省近畿運輸局自動車技術安全部長 令和 2年7月 現職</p>
	<p>氏名 黒田 浩司(くろだ ひろし) 現職 経済産業省産業技術環境局国際標準課長</p> <p><略歴> 平成 8年4月 通商産業省入省 平成20年5月 産業技術環境局 環境政策課 課長補佐 平成23年6月 製造産業局 住宅産業業業建材課 総括補佐 平成25年6月 産業技術環境局 基準認証政策課 政策企画委員(筆頭補佐) 平成26年7月 復興庁 原子力災害復興班 企画調査官 平成28年7月 大臣官房 福島復興推進グループ 福島新産業・雇用創出推進室長 平成30年7月 産業技術環境局 国際標準課 統括基準認証推進官 平成31年1月 現職</p>
	<p>氏名 斧田 孝夫(おのだ たかお) 役職 (独)自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 審議役</p> <p><略歴> 平成 3年4月 運輸省入省 平成18年6月 国際エネルギー機関 (IEA) 政策分析官 平成24年7月 国土交通省自動車局国際業務室長 平成27年7月 国土交通省自動車局審査・リコール課長 平成29年7月 自動車基準認証国際化研究センター 所長 令和元年7月 現職</p>
	<p>氏名 横山 利夫(よこやま としお) 現職 本田技研工業株式会社 四輪事業本部 ものづくりセンター エグゼクティブチーフエンジニア (特任)</p> <p><略歴> 昭和54年 本田技研工業株式会社 入社 平成12年 Honda R&D Americas Vice President 平成15年 Honda Research Institute USA President 平成20年 株式会社本田技術研究所 未来交通システム研究室室長 平成24年 株式会社本田技術研究所 4輪R&Dセンター自動運転/ITS研究開発担当 平成26年 日本自動車工業会 自動運転検討会 主査 同年 S I P自動走行プロジェクト 推進委員会 委員 令和 2年 日本自動車工業会 自動運転部会 部会長</p>

講演者ご紹介（海外）



国運輸省道路交通安全局（NHTSA）
Chief Counsel Jonathan C. MORRISON

As Chief Counsel, Jonathan Morrison oversees the provision of all legal services and advice for the full array of the National Highway Traffic Safety Administration's (NHTSA) vehicle safety and highway safety programs.

Previously, Mr. Morrison served as President of Irvine, California-based Auto Advisory Services (AAS), a legal compliance consulting company. From 2006-2014, Mr. Morrison worked as the Director of Legal and Regulatory Affairs for the California New Car Dealers Association in Sacramento.

Mr. Morrison is a member of the State Bar of California, and has served as an appointed member of the California Bureau of Automotive Repair Advisory Group, and as Director of the California Automotive Business Coalition. Mr. Morrison has a bachelor of philosophy degree in philosophy and music from the University of Pittsburgh, a juris doctor from the Notre Dame Law School, and a master of law degree in international business law from University College London.



中国自動車技術研究センター（CATARC）
Deputy Director of Automotive Standardization
Research Institute(ASRI) WANG Zhao

Mr. WANG Zhao is the Chief Experts on auto standards of CATARC, Vice-Chair of Auto Driving Branch of AI Society. He, as a registered expert of Autonomous Driving Coordination Group, is convening the ADS Test Scenario Working Group for ISO standard(ISO/TC 22/SC 33/WG 9).

Since his graduation from Jilin University in 2001, he has been working on auto standardization and regulation research for nearly twenty years. He led the planning and development of auto standards in several fields such as energy saving, brake and chassis, electronics, and Intelligent and Connected Vehicles, presided more than twenty research projects from different departments, and participated into the researches and draft of some governmental policies and documents relating to auto standardization and regulation. His team participated into international harmonization of technical regulations at UN/WP 29 including its GRVA and ISO standards at ISO/TC 22.

In recent years, as the first author, he has published more than 20 papers, edited or participated in the compilation of six books, and won five provincial and ministerial awards relating to automobile and standardization.



欧州委員会域内市場・産業・起業・中小企業総局
(DG GROW EC)

Team Leader Automated/Connected vehicles and Safety
Antony LAGRANGE

Antony Lagrange is team leader in the 'Automotive and mobility Industries' Unit within the Directorate General Internal Market, Industry Entrepreneurship and SMEs. He is in particular responsible for vehicle safety as well as automated/connected vehicles. He is also chairman of the informal group on automated braking (AEBS) of the United Nations (UNECE). He holds a Master in Engineering and a Master in management/Business administration. He has worked in the field of automotive legislation since 2001 at national and international level, and before that, in the private sector. He joined the Commission in 2011.